

本日の論点

(1) 小規模事業者の新陳代謝を円滑に進めるためには、どのような取組が必要か。

- 画期的なアイデアや技術をもって市場に参入する企業は、消費者の多様なニーズに対応した付加価値の提供を通じて、中小企業全体の「稼ぐ力」の向上に寄与することから、起業・創業の促進が重要。
- 経営者の高齢化や後継者不足の中で、企業の有する経営資源を次世代に引き継ぎ、社会全体で有効に活用していくことが必要だが、小規模事業者ほど事業承継が進んでいない傾向にある。
- 小規模事業者の新陳代謝（起業・創業、事業承継、M&A、廃業）を円滑に進めるため、具体的にどのような取組が有効か。

(2) 小規模事業者の社会課題解決につながる事業への参画を推進するためには、どのような取組が必要か。

- 約6割の小規模事業者が、地域の社会課題解決に向けた、まちづくり、産業振興、安全・安心、環境保護、福祉・教育といった分野の課題解決に取り組んでおり、女性・若者の社会課題解決への関心も高まっている。また、小規模事業者が起業・創業するにあたり、地域の社会課題解決が重要な視点となる。
- 域内企業や自治体と連携しつつ、新たな価値創造や技術の活用等により、事業を通じて地域課題解決を図り、社会的インパクトを生み出しながら、収益を確保する「ローカル・ゼブラ企業」の活躍も期待されている。
- 社会の価値観の変化や地方自治体のリソース不足の中で、地域とのつながりが強い小規模事業者に対する期待が高まっているが、小規模事業者の社会課題解決につながる事業への参画を更に促すためには、具体的にどのような取組が有効か。